



2023年 四旬節
兄弟姉妹の皆さんカレンダー

2023年四旬節・兄弟姉妹の皆さんカレンダー

参考:教皇フランシスコ『回勅 兄弟の皆さん』

※FT●●は『回勅 兄弟の皆さん』の段落番号です。

日	月	火	水	木	金	土	
				2月22日 神は愛です。愛にとどまる人は、神の内にとどまる。	2月23日 私たちは一人では生きられません。支えてくれるすべての人たちに感謝しよう。	2月24日 連帯と、思いやりの姿勢、良いサマリア人の寄り添いの姿勢で、男女、子供、お年寄り一人ひとりの持つ脆弱性に心を配ろう。	2月25日 一人ひとりを、唯一無二のかけがえのない人として大切にしよう。
				灰の水曜日 FT 4	FT 51-55	FT 77-79	FT 95-100
2月26日	2月27日	2月28日	3月1日	3月2日	3月3日	3月4日	
神よ、わたしのうちに清い心を造り、あなたのいぶきでわたしを強め、新たにしてください。	「難民」に対する理解を深め、今自分にできることを考えよう。	自分の隣人のために心から祈り、相手を受け入れ、生き生きとした未来に向かって歩もう。	会って助け合うには対話が必要。目を向け、耳を傾け、互いを知り、互いを理解しようとする事、接点を探すことを心にとめて対話しよう。	愚直だといわれようとも動じることなく平和を選んで行動しよう。	兄弟姉妹である喜びをもって異なる文化や宗教などの違いを受け入れよう。	あらゆる形態の浪費に鈍感にならず周りに目を向けて生活できますように。	
四旬節第1主日	FT 129-131	FT 155-162	FT 198-210	FT 255-262	FT 271-280	FT 15-28	
3月5日	3月6日	3月7日	3月8日	3月9日	3月10日	3月11日	
神のことはただしく、そのわざにはいつわりがない。神は正義と公平を愛し、いつくしみは地に満ちている。	自分自身が助けを必要としている人の存在に気づいて、その人の「隣人」になろう。	閉ざされた個人主義ではなく、開かれた心で真の兄弟愛を培おう。	さもしい自分の利益の内にと閉じこもろうとする人間が持つ利己的な傾向を変えていくために、人の心、習慣、生活様式を変える必要性に気づこう。	真の和解のため、対立から逃げずにオープンかつ真摯に、そして辛抱強く話し合おう。	ネット上の関係作りに夢中になり、兄弟愛の味わいを失いつつあるこのパンデミック。私たちの存在の意味を見つめ直してみよう。	東日本大震災の被災者のために祈ろう。そしてもし被災地から避難してきた人たちが身近にいたら親切に迎えよう。互いに橋を架ける愛を心に留めて!	
四旬節第2主日	FT 80-83	FT 101-105	FT 163-169	FT 236-245	FT 29-41	FT 56-62	
3月12日	3月13日	3月14日	3月15日	3月16日	3月17日	3月18日	
主よ、渇くことがないように、また、ここにくみに来なくてもいいように、その水をください。	すべての人が尊厳をもち、生きる権利に国境や境界線はないことを心に留めよう。	他の民の悲劇に連帯することでグローバルに対する真摯で友好的な開放性を心に持とう。	地球はあらゆる世代に貸し付けられているもの。次の世代のためにも地球環境を見直し、地球温暖化や環境破壊のために具体的な対策に取り組もう。	周囲の人々に注意を向け、微笑みかけよう!	より正義にかない、いっそう兄弟愛にあふれる将来を築くため、広島・長崎への原子爆弾をはじめとした悲しい歴史を思い起こそう。	誰かの心の支えになるために、身を砕くほどに惜しみなく自己を差し出せる平和の職人になろう。	
四旬節第3主日	FT 118-127	FT 146-153	FT 170-179	FT 211-224	FT 246-254	FT 281-284	

日	月	火	水	木	金	土
3月19日	3月20日	3月21日	3月22日	3月23日	3月24日	3月25日
わたしがこの世に来たのは、裁くためである。こうして、見えない者は見えるようになり、見える者は見えなくなる。	「喜ぶ人とともに喜び、泣く人とともに泣きなさい」(ローマ 12・15)を胸に、様々な苦境に置かれた人々を思い、祈ろう。	今自分にとって大切な人との関係だけで生きているのではないことを思い起こし、もっと他者との交わりを持つよう心を開こう。	人は皆、民(たみ)に属することで十全に一人の間になる。だから愛の気持ちを持って社会に生きることを心に留めよう。	命の大切さをもう一度しっかり考えよう。そして一人ひとりが死刑制度に関心を持って死刑囚の人権や尊厳が守られるように祈ろう。	アッシジの聖フランシスコが、貧しい人々や病者の声を聴き、そして自然の声を聴いて、それを自分の生き方としたその種を、私たちの心の中で育てよう。	差別されている人がいたら、見て見ぬふりをしないで立ち向かおう。
四旬節第4主日	FT 84-86	FT 87-94	FT 180-185	FT 260-270	FT 42-50	FT 72-76
3月26日	3月27日	3月28日	3月29日	3月30日	3月31日	4月1日
わたしの願いをいつも聞いてくださることを、わたしは知っています。しかし、わたしがこう言うのは、周りのいる群衆のためです。	その人の存在という価値に根拠があるのだから、お互いを尊重し大切にしよう。	だれも排除しない社会的友愛とすべての人に開かれた普遍的兄弟愛を忘れず生活しよう。	いちばんの弱者に対する優先的な愛がある政治!それが行われるように社会をつくろう。	違う文化の人を認めて、その人がその人らしく生きられるよう互いに助け合うこと。例えば先住民族の人々の文化を理解して共に生きることを意識しよう。	苦手な相手こそ、その人のよいところを見つけよう。それだけでなく、そのよいところを引き立てるのが使命。それを果たしてこそ真の平和が私たちに実現する。	一番の弱者である人と完全に同一になることですべての人と兄弟になった聖シャルル・ド・フォーコのように兄弟愛を持って人に接しよう。
四旬節第5主日	FT 106-111	FT 142-145	FT 186-192	FT 215-221	FT 228-232	FT 285-287
4月2日	4月3日	4月4日	4月5日	4月6日	4月7日	4月8日
主なる神は、弟子としての舌をわたしに与え、疲れた人を励ますように言葉を呼び覚ましてくださる。	「人間の苦しみに、動転するほど心乱されるべきなのです。それが尊厳なのです。」隣人と痛みを分かち合おう。	たとえ自分のところに水が存分にあっても、とも暮らさず家(地球)の兄弟が困難の中にあるならば、自分の欲を抑えて、水を大切に、分かち合おう。	異なる生活・文化の背景をもつ多様な人々の到来は、贈り物。根気強く、信頼に満ちた対話をしていこう。	たった一人のためにも愛の献身をささげよう。	十字架の前で普通の母性を授かったマリア様は、現代を生きる私たちが社会から見捨てられた人にも居場所のある新しい世界を生み出すことを望んでいる。そのことを思い起こそう。	歩む道としては対話の文化を、行動としては協働を、方法・基準としては相互認識を!
四旬節受難の主日	FT 63-71	FT 112-117	FT 133-141	FT 193-197	FT 278	FT 285
4月9日						
きょうこそ神が造られた日、喜び歌え、この日をともに。						
復活の主日						

創造主への祈り

人類の父である主よ、
あなたはお造りになったすべての人に、分け隔てなく尊厳をお与えになりました。わたしたちの心に、兄弟姉妹への愛を目覚めさせてください。
再会、対話、正義、平和の夢を、呼び覚ましてください。

飢えも貧困もなく、暴力も戦争もない、
より健全な社会とより尊厳ある世界を築くために、
わたしたちを奮い立たせてください。

あなたが一人ひとりのうちに蒔かれたよいもの、美しいものに気づき、
一致を深め、共通の課題に取り組み、希望を共有してきずなを強めるために、
わたしたちの心が地上のあらゆる民族と国々に開かれますように。
アーメン。

キリスト教一致の祈り

愛である三位の神よ、
あなたの愛の深い交わりから、
わたしたちに兄弟姉妹へのあふれる愛を注いでください。
イエスの姿とナザレの聖家族のうちに示され、
初めのキリスト教共同体を通して表された愛をお与えください。

わたしたちキリスト者が、福音を生きることができるよう
に。
一人ひとりのうちにキリストを見いだすことができますよ
うに。
この世界で見捨てられ、忘れられた人の苦しみのうちに、
十字架につけられたかたと出会い、
立ち上がる兄弟姉妹のうちに、
復活したかたを見ることができるよう

聖霊、来てください。
地上のすべての人に映し出される、あなたの美しさを示し
てください。
どの人も大切であり、どの人も欠けてはならないことに気
づき、
異なる顔をもつ一人ひとりが神に愛された同じ人間である
ことを
わたしたちが悟ることができるよう
アーメン。